

**安芸地域アクションプランの追加、削除、拡充等
(予定項目)**

安 芸 地 域 本 部

令和5年2月8日(水)

地域アクションプランの令和5年度の追加・削除等(予定項目)

地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしや既存事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

- (1) 新規事業の掘り起こし
発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
- (2) 課題解決に向けた支援
 - ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
 - ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援

地域アクションプランの増減 (▲1)

- (1) 追加(新規) : 3件
 - 仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)
 - 梶原町産の桜を活用した加工品等の生産・販路の拡大(梶原町)
 - 地元食材を活用した加工品の開発・製造による地産地消・外商の推進(四万十市)
- (2) 削除(廃止) : ▲2件
 - 温泉開発による観光地としての魅力向上(高知市)
 - 須崎市養殖漁業等のさらなる振興(須崎市)
- (3) 統合 : ▲2件
 - 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入れ体制の充実(仁淀川町)
→仁淀川町滞在交流型観光の推進(仁淀川町)へ統合
 - 「黒潮本陣」を核とした滞在型観光推進(中土佐町)
→中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進(中土佐町)へ統合

地域アクションプラン数 R4年度 218件 → R5年度 217件 (▲1)

	R4年度 (第4期Ver.3)	R5年度 (第4期Ver.4)				AP数
	AP数 R5.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	30					30
物部川	24					24
高知市	22		▲1		▲1	21
嶺北	24					24
仁淀川	34	1		▲1		34
高幡	40	1	▲1	▲1	▲1	39
幡多	44	1			1	45
合計	218	3	▲2	▲2	▲1	217

○地域産業クラスタープロジェクト R4年度 18件 → R5年度 17件 (▲1)

安芸地域アクションプラン項目（第4期計画Ver.3（R4年度）と

No.	現在（令和4年度）	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		11	5	9	7	7	8	4	5	6
1	安芸地域のユズを中心とした中山間振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	●	●	●	●	●	●			●
3	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興			●						
4	芸西村の白玉糖による地域活性化									●
5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
6	馬路の林業加工品の販売促進								●	
7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
8	室戸海洋深層水による地域産業の推進	●								
9	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	●								
10	室戸市中心市街地の活性化	●								
11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化		●							
12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
13	有害鳥獣等を活用したペットフードの開発と販路開拓			●						
14	地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大				●					
15	田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用					●				
16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み					●				
17	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進						●			
18	地場産品直販所「かっぱ市」等による地域活性化									●
19	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	日本遺産を活用した中芸地域の活性化				●	●	●	●	●	
21	室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興	●								
22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進		●							
23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進	●		●						
24	奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大				●					
25	安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化						●			
26	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大							●		
27	椎名集落活動センターたのしいなを拠点とした室戸市椎名地区の活性化	●								
28	集落活動センターなかやまを拠点とした安田町中山地区の活性化						●			
29	集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化								●	
30	集落活動センターげいせいを拠点とした”小さくてもっと元気で輝くむら”づくり									●

第4期計画Ver. 4 (R5年度) の対比表

【安芸地域】

室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	改定案(令和5年度)
11	5	9	7	7	8	4	5	6		
●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	安芸地域のユズを中心とした中山間振興
●	●	●	●	●	●			●	2	日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト
		●							3	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興
								●	4	芸西村の白玉糖による地域活性化
●		●							5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
							●		6	馬路の林業加工品の販売促進
●		●	●	●	●				7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
●									8	室戸海洋深層水による地域産業の推進
●									9	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大
●									10	室戸市中心市街地の活性化
	●								11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
		●							12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興
		●							13	有害鳥獣等を活用したペットフードの開発と販路開拓
			●						14	地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大
				●					15	田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用
				●					16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み
					●				17	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進
								●	18	地場産品直販所「かっぱ市」等による地域活性化
●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	安芸地域の観光振興の推進
			●	●	●	●	●		20	日本遺産を活用した中芸地域の活性化
●									21	室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興
	●								22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進
●		●							23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進
			●						24	奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大
					●				25	安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化
						●			26	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
●									27	椎名集落活動センターたのしいなを拠点とした室戸市椎名地区の活性化
					●				28	集落活動センターなかやまを拠点とした安田町中山地区の活性化
							●		29	集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化
								●	30	集落活動センターげいせいを拠点とした”小さくてもっと元気で輝くむら”づくり

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野	林業
----	----

AP名 (実施地域)	No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町)
実施主体	◎室戸市木炭振興会、◎土佐備長炭室戸生産組合、◎土佐備長炭生産組合、◎上土佐備長炭東洋組合、◎備長炭生産者、室戸市、東洋町
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	新規就業者の確保等により備長炭の生産量を拡大し、国内トップの備長炭産地として安定供給体制を築くことにより、地域における就業の場の創出と伝統産業の継承を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
生産量(年次)	1,284t (H30)	1,232t	1,223t (推定値)		1,534t

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生産者の組織化 <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会の設立（H19.9月） ・土佐備長炭室戸生産組合の設立（H28.8月） ・土佐備長炭生産組合の設立（H21.4月） ・上土佐備長炭東洋組合の設立（H30.9月） ◆従事者の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産業新規就業者支援事業を活用した研修生の受入（H21～R4） 受入先：室戸市の生産者：20人 受入先：東洋町の実産者：24人 ◆生産施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製炭窯等の整備 [室戸市木炭振興会]（現：土佐備長炭室戸生産組合） 研修窯2基（H21） 研修窯1基（H22） [土佐備長炭生産組合] 共同利用窯2基（H21） 共同利用窯1基、保管庫1棟（H22） 共同利用窯4基、フォークリフト1台（H25） 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆組織化による原木の一括購入により、原木の安定調達が可能となった [土佐備長炭生産組合、上土佐備長炭東洋組合] ◆研修窯の設置等による新規就業者の増加 研修生受入人数（H21～R4）：44人 → 研修後に就業した者（R3時点）：39人 → 研修中（R4.6月時点）：3人 ◆従事者や製炭窯の増加による生産量の増大（H21～） H20：555t → R3：1,223t（推定値） 着実に成長を続け、H26以降、高知県の白炭生産量は全国一位。室戸市と東洋町で県内生産量の約90%を生産 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量のさらなる増加 ・生産量の増加に伴う製炭用原木の安定的な調達

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆従事者の拡大	<p>新研修生の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ●備長炭生産者： 研修生の受入 ●室戸市、東洋町： 研修生の募集、特用林産業新規就業者支援事業を活用した補助制度の実施 ●県（林業事務所等）： 研修後の独立に向けた各種支援制度に関する情報提供 				
◆生産施設の整備	<p>製炭窯の設置等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●備長炭生産者： 研修修了者等の新規就業者が製炭窯や原木運搬車等の施設・機械を整備 ●県（林業事務所）： 生産施設の設置に係る融資制度や補助事業の導入への支援 				
◆原木林の造成	<p>ウバメガシ人工植栽に関する情報収集等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室戸市、東洋町： ウバメガシを植栽する候補地の選定等 ●県（林業事務所）： ウバメガシの植栽・保育に関する技術情報の整理 		<p>スギ・ヒノキ人工林からウバメガシ人工林への林種転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室戸市、東洋町： 公有林へのウバメガシの植栽、保育施業の実施 ●県（林業事務所）： ウバメガシの植栽・保育施業への支援 		
<p>【用語】・備長炭：ウバメガシ又はカシ類を原木に用いて製造された白炭（窯外で消火する炭化法で製造された木炭）</p>					

AP 名 (実施地域)	No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町)
実施主体	◎室戸市木炭振興会、◎土佐備長炭室戸生産組合、◎土佐備長炭生産組合、◎上土佐備長炭東洋組合、◎備長炭生産者、室戸市、東洋町
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	新規就業者の確保等により備長炭の生産量を拡大し、国内トップの備長炭産地として安定供給体制を築くことにより、地域における就業の場の創出と伝統産業の継承を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
生産量(年次)	1,284t (H30)	1,232t	1,223t (推定値)		1,534t

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産者の組織化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会の設立 (H19.9月) ・土佐備長炭室戸生産組合の設立 (H28.8月) ・土佐備長炭生産組合の設立 (H21.4月) ・上土佐備長炭東洋組合の設立 (H30.9月) <p>◆従事者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産業新規就業者支援事業を活用した研修生の受入 (H21~R4) 受入先：室戸市の生産者：20人 受入先：東洋町の実産者：24人 <p>◆生産施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製炭窯等の整備 [室戸市木炭振興会] (現：土佐備長炭室戸生産組合) 研修窯 2基 (H21) 研修窯 1基 (H22) [土佐備長炭生産組合] 共同利用窯 2基 (H21) 共同利用窯 1基、保管庫 1棟 (H22) 共同利用窯 4基、フォークリフト 1台 (H25) 	<p><主な成果></p> <p>◆組織化による原木の一括購入により、原木の安定調達が可能となった [土佐備長炭生産組合、上土佐備長炭東洋組合]</p> <p>◆研修窯の設置等による新規就業者の増加 研修生受入人数 (H21~R4) : 44人 → 研修後に就業した者 (R3時点) : 39人 → 研修中 (R4.6月時点) : 3人</p> <p>◆従事者や製炭窯の増加による生産量の増大 (H21~) H20 : 555t → R3 : 1,223t (推定値) 着実に成長を続け、H26以降、高知県の白炭生産量は全国一位。室戸市と東洋町で県内生産量の約90%程度を生産</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量のさらなる増加 ・生産量の増加に伴う製炭用原木の安定的な調達

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆従事者の拡大	<p>新研修生の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ●備長炭生産者： 研修生の受入 ●室戸市、東洋町： 研修生の募集、特用林産業新規就業者支援事業を活用した補助制度の実施 ●県（林業事務所等）： 研修後の独立に向けた各種支援制度に関する情報提供 				
◆生産施設の整備	<p>製炭窯の設置等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●備長炭生産者： 研修修了者等の新規就業者が製炭窯や原木運搬車等の施設・機械を整備 ●県（林業事務所）： 生産施設の設置に係る融資制度や補助事業の導入への支援 				
◆原木林の造成	<p>ウバメガシ人工植栽に関する情報収集等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室戸市、東洋町： ウバメガシを植栽する候補地の選定等 ●県（林業事務所）： ウバメガシの植栽・保育に関する技術情報の整理 <p>スギ・ヒノキ人工林からウバメガシ人工林への林種転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室戸市、東洋町： 公有林へのウバメガシの植栽、保育施業の実施 ●県（林業事務所）： ウバメガシの植栽・保育施業への支援 <p>【用語】・備長炭：ウバメガシ又はカシ類を原木に用いて製造された白炭（窯外で消火する炭化法で製造された木炭）</p>				

AP名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (戸海市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会 【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1)漁業者による加工品販売額	45万円 (H30)	63万円		300万円
(2)水産加工業者の販売額	2.5億円 (H30)	2.3億円		3億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売 (定置網漁獲物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網で漁獲される小イカ、ハダカイワシなどの低利用魚の簡易加工品を試行 (H26) <p>(近海マグロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸沖合鮪漁業船主組合の若手船主を中心として、近海マグロのPRを目的に「土佐室戸鮪軍団」を結成、学校での出前授業や加工品の開発、イベントでの試験販売等の取り組みを開始 (H29～) ・マグロの内臓の加工品開発 (H29～)、首都圏飲食店でのフェアメニューやふるさと納税返礼品として採用、アンテナショップや道の駅での販売開始 (H30～) ・室戸市企業立地促進事業費補助金を活用した新加工工場建設事業の開始 (R3～) ・高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金を活用した加工機器の新規導入 (R3) <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売 (有)タカシン水産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した水産加工施設の整備及び地域の定置網漁獲物を中心とした加工事業の開始 (H21～) ・主力の「しめサバ」に加え、ギフト用漬け商品、メジカフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・レーク、キンメダイフィレなどの定番商品を販売 ・ふるさと納税返礼品として取り扱い (H27～) <p>(有)山本かまぼこ店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業) を活用した商品開発及び新工場の基本設計等事業の開始 (R2～) ・高知県新事業チャレンジ支援事業費補助金活用による設備導入 (R3) ・ジャパン・インターナショナルシーフードショー参加 (R3) <p><主な成果></p> <p>◆マグロ内臓の加工品販売額 H29 : 0円 → H30 : 45万円 → R元 : 50万円 → R2 : 63万円</p> <p>◆水産加工品販売額 H22 : 0.35億円 → H30 : 1億円 → R元 : 0.85億円 → R2 : 2.3億円</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期間保存できる商品の開発などによる販路拡大 ・製造・販売体制の確立 ・さらなる販路開拓、販売促進 ・建設資材等高騰のための施設整備費の上昇 (株)美阿丸、(有)山本かまぼこ店 ・生産性の向上、衛生管理体制の強化
---	---

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">施設整備</div>				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	近海マグロの PR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 				
	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">施設整備</div>				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	生産性向上と販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 				
	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">施設整備</div>				

AP 名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会 【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓
AP への位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)漁業者による加工品販売額	45万円 (H30)	63万円	70万円		300万円
(2)水産加工業者の販売額	2.5億円 (H30)	2.3億円	2.1億円		3.0億円

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆漁業者による加工品の製造販売

(定置網漁獲物)

- ・低利用魚の簡易加工品試作 (H26)

(近海マグロ)

- ・若手船主を中心に結成された「土佐室戸鮪軍団」による出前授業やイベントでのPR (H29～)
- ・未利用部位の加工品開発 (H29～R2)、道の駅や飲食店等での販売、ふるさと納税返礼品への採用 (H30～)
- ・室戸市補助金を活用した加工場建設 (R3～)
- ・県補助金を活用した加工機器の導入 (R3～)
- ・高知銀行の支援事業を活用した商品開発と販路開拓 (R4～)

◆水産加工業者による加工品の製造販売

(有)タカシン水産)

- ・産振補助金を活用した加工場整備 (H21)
- ・地域漁獲物を用いた加工事業の実施 (H21～)
- ・ふるさと納税返礼品への採用 (H27～)
- ・県補助金の活用による HACCP 取得に向けた施設整備と内製化に向けた機器整備 (R2)
- ・EC サイト運営 (R3～)

(有)山本かまぼこ店)

- ・産振補助金 (ステップアップ事業) を活用した商品開発及び新工場の基本設計事業 (R2)
- ・県補助金活用による設備導入 (R3)
- ・産振補助金を活用した加工場の整備検討 (R3～R4) ※資材高騰等により補助事業中止

＜主な成果＞

◆マグロ内臓の加工品販売額

H29 : 0万円 → H30 : 45万円
→ R元 : 50万円 → R2 : 63万円
→ R3 : 70万円

◆水産加工品販売額

H22 : 0.4億円 → H30 : 1.0億円
→ R元 : 0.9億円 → R2 : 2.3億円
→ R3 : 2.1億円 (H30・R元は、1社のみの実績)

＜課題＞

◆漁業者による加工品の製造販売

- ・新商品の開発やネット販売による販路拡大
- ・建設中の加工場における製造・販売体制の確立

◆水産加工業者による加工品の製造販売

- ・生産性の向上、衛生管理体制の強化
- ・建設資材等高騰による施設整備費の上昇
- ・さらなる販路開拓、販売促進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	施設整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸： HACCPに対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	近海マグロのPR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	生産性向上と販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 				
	施設整備				
<ul style="list-style-type: none"> ●(有)山本かまぼこ店： HACCPに対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 産振総合補助金の活用 					

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)
実施主体	東洋町
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
(1)売上高	1.68億円 (H30)	1.35億円		1.76億円
(2)来場者数	177,809人 (H30)	140,231人		187,000人

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆運営体制の強化

- ・「海の駅東洋町」の整備 (H20.1月)
- ・火災による焼失 (H24.7月)
- ・産業振興推進総合事業費補助金を活用した再建 (H25.12月)、運営再開 (H26.1月～)
- ・教育旅行の受入 (H28:1回、H29:2回、H30:2回、R元:0回)
- ・駅長(責任者)の雇用 (H29～R元)
- ・弁当、惣菜部門の創設及びスタッフの雇用 (H30～)
- ・地域おこし協力隊2名の雇用 (R3)

◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

- ・サバやトマト等を活用した加工品開発及び試験販売(パスタソース、カレー、丼) (H29)
- ・近隣の調理場を活用した弁当、惣菜づくり (H30～)
- ・ポンカンピールを使用したお土産品の開発及び販売(チョコレート、クッキー等) (R2～)
- ・ポンカン食パンの販売 (R3)

◆誘客の促進

- ・ワークショップの開催 (H28:3回、H29:4回、H30:5回、R元:3回)
- ・イベントへの出店 (H28:2回、H29:11回、H30:16回、R元:10回)
- ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講集会参加 (H29)
- ・直販市活性化セミナー受講 (H30)

- ・海の駅の駐車場などを活用したイベント誘致 (kawasaki主催のバイクイベント (H31))
- ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～R3)
- ・キャッシュレス対応化 (R2～)
- ・レストラン部門のオペレーションを見直し、新メニューの提供開始 (R3)
- ・地域力創造アドバイザーの導入 (R3)

＜主な成果＞

- ・弁当、惣菜部門の創設による商品ラインナップの充実の結果、レストラン利用に加え新たな客層を開拓し、売上に繋げることができた。
- ・サバを活用した漁師料理「じゃんじゃん丼」等をレストランでメニュー化の結果、集客力の向上及び東洋町の特産品のPRが図れた。
- ・動線の見直し及び売場のレイアウト変更の結果、店内の回遊性が向上し、効率的な売場づくりにつながった。
- ・バイクイベントの開催 (H31.4.21)により、一層の誘客(対前年同日比(客数)120%、(売上)128%)を図ることができた。

＜課題＞

- ・店舗の狭隘対策
- ・特産品の開発と販路拡大
- ・集客強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 運営体制の強化	出品者勉強会の開催				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：専門家等を活用した勉強会の実施 ● 県（地域本部等）：産振アドバイザー等の活用の提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
	従業員研修の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：専門家等を活用した研修の実施 ● 県（地域本部等）：産振アドバイザー等の活用の提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
			運営体制の見直し		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：地域力創造アドバイザーの活用 ● 県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆ 地域特産品を活用した加工品の開発・販売	加工品の開発・販売による地産外商				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：新商品の検討・開発・販売、町内外のイベント出店、ふるさと納税への出品 ● 県（地域本部等）：試作品づくりへのアドバイスを求めるための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供、高知県地産外商公社への橋渡し 				
◆ 誘客の促進	魅力的な店舗づくり、情報の発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：店内レイアウトの変更、ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致、SNSを活用した情報発信 ● 県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				

修正後

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)
実施主体	東洋町
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)売上高	1.68 億円 (H30)	1.35 億円	1.52 億円		1.76 億円
(2)来場者数	177,809 人 (H30)	140,231 人	155,477 人		187,000 人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆運営体制の強化

- ・「海の駅東洋町」の整備 (H20.1月)
- ・火災による焼失 (H24.7月)
- ・産業振興推進総合事業費補助金を活用した再建 (H25.12月)、運営再開 (H26.1月～)
- ・地域おこし協力隊の雇用 (R3)
- ・駅長の設置 (R3)
- ・スタッフの意識改革に向けた取り組み (駅長とスタッフの面談、日報の変更) (R4)
- ・地域活性化起業人制度の活用 (R4)

◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売

- ・近隣の調理場を活用した弁当、惣菜づくり (H30～)
- ・ポンカンピールを使用したお土産品の開発及び販売 (チョコレート、クッキー等) (R2～)
- ・ポンカン食パンの販売 (R3)
- ・レストラン部門で、地元の魚をつかったお刺身定食や、マグロ丼の提供開始。物販コーナーで、魚を使ったお惣菜や、お刺身パックなどの販売開始。(R4)

◆誘客の促進

- ・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講集会参加 (H29)
- ・直販市活性化セミナー受講 (H30)

- ・海の駅の駐車場などを活用したイベント誘致 (kawasaki 主催のバイクイベント (H31))
- ・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～R3)
- ・キャッシュレス対応 (R2～)
- ・地域力創造アドバイザーの導入 (R3)
- ・BBQ事業の開始 (R4)
- ・DMV1周年記念イベントの開催 (R4)

<主な成果>

- ・駅長 (責任者) の設置により、運営体制の強化が図られた。また、駅長とスタッフ面談や目標・結果の見える化により、スタッフのモチベーションが上がり、魅力的な店舗作り・サービスの向上につながっている。
- ・POPの作成や掲示により、より良い売場となり、結果として購買意欲の向上につながっている。
- ・地元の魚を使ったメニューを積極的に提供するなどして、お客さんの満足度を高められている。

<課題>

- ・集客強化
- ・リピーターの確保
- ・町内事業者 (出品者) との協力体制の構築
- ・主力商品である魚の安定供給

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 運営体制の強化	出品者勉強会の開催				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：専門家等を活用した勉強会の実施 ● 県（地域本部等）：産振アドバイザー等の活用の提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
	従業員研修の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：専門家等を活用した研修の実施 ● 県（地域本部等）：産振アドバイザー等の活用の提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
			運営体制の見直し	指定管理による運営開始	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：地域活性化起業人制度の活用 ● 県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆ 地域特産品を活用した加工品の開発・販売	加工品の開発・販売による地産外商				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：新商品の検討・開発・販売、町内外のイベント出店、ふるさと納税への出品 ● 県（地域本部等）：産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供、高知県地産外商公社への橋渡し 				
◆ 誘客の促進	魅力的な店舗づくり、情報の発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 東洋町：店内レイアウトの変更、ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致、SNSを活用した情報発信 ● 県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、◎奈半利なんでも市加工グループ、◎NCL48、JA 高知県(安芸地区)
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販促の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) JA 加工施設(奈半利味噌)の売上高	677万円 (H30)	723万円	787万円		912万円
(2) 農水産加工施設の店舗売上高	800万円 (R元見込)	1,256万円	1,436万円		900万円
(3) 集出荷センター取扱高(7~6月)	5.4億円(R元.7月~R2.6月見込)	0.45億円	0.11億円		6億円

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆地産外商の強化

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(JA加工施設)(H26)
- ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(奈半利のおかげ)(H28)
- ・複合経営拠点支援事業補助金等を活用した集出荷施設の整備(H29)
- ・奈半利味噌やイチジクジャム等のとさのさとへの出品(R元~)
- ・奈半利のおかげ商品の「地のもん市場ハレタ(土佐市)」への出品(R2~)
- ・おはようこうち「さんしんGO!」放送(R4)

◆運営体制の強化

- ・販売促進や運営上の課題等に関する定期的な協議
- ・うちんくのビジネス塾への参加(R2)
- ・産業振興アドバイザーの派遣(R3)
- ・選ばれる商品づくりセミナー第3回衛生管理の基本の「き」への参加(R4)

◆一次産業の振興

- ・農作業のオペレーター受託(H28~)
- ・農作物の生産開始(H28~)
- ・集落活動センター推進事業補助金を活用した備品整備(H29)

<主な成果>

◆ふるさと納税額(R2.7月~R4.9月まで停止)

H28:20.3億円 → H30:37.6億円
→ R元:4.2億円 → R2:0.4億円
→ R3:0億円

◆農作業受託件数

H29:75件 → H30:89件 → R元:145件
→ R2:212件 → R3:176件

◆農作物

いちじく作付け面積 H29:0a → R3:2.8a

◆加領郷魚舎

加領郷フィッシャリーズが利用開始(R4)

<課題>

- ・ふるさと納税に依存しない事業運営体制の構築

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆地産外商の強化	新商品の開発・既存商品の磨き上げ				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48 : 新商品の検討・開発・販売、既存商品の磨き上げ ● 県（地域本部等） : 新商品開発・既存商品磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	ふるさと納税を活用した地産・外商の強化				
◆運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷 : ふるさと納税の返礼品となる商品の磨き上げ支援、情報発信の強化 ● 県（地域本部等） : 商品の磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種セミナー等の情報提供 				
	通販サイトの充実・通販サイトを活用した特産品販売の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷 : R 元に開設した通販サイトの企画・運営、サイト内容の充実による特産品の販売促進 ● 県（地域本部等） : 通販サイトの運営などに関する産振アドバイザー等の活用提案 				
◆一次産業の振興	後継者の確保及び育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48 : (一社)高知県移住促進・人材確保センターを活用した人材確保、職場環境の見直しや衛生管理技術向上に向けたセミナー等の受講 ● 県（地域本部等） : セミナー等に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆一次産業の振興	農作業受託・新規就農者受入等の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (一社)なはりの郷、奈半利町 : 農作業受託の推進に向けた広報、地域おこし協力隊の募集・活用による人材確保 ● 県（地域本部等） : 農業技術の指導等 				

AP名 (実施地域)	No.14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、◎奈半利なんでも市加工グループ、◎NCL48、JA 高知県(安芸地区)
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販促の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) JA 加工施設(奈半利味噌)の売上高	677万円 (H30)	723万円	787万円		912万円
(2) 農水産加工施設の店舗売上高	800万円 (R元見込)	1,256万円	1,436万円		900万円
(3) 集出荷センター取扱高(7~6月)	5.4億円(R元.7月~R2.6月見込)	0.45億円	0.11億円		764万円

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆地産外商の強化

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(JA加工施設)(H26)
- ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(奈半利のおかげ)(H28)
- ・複合経営拠点支援事業補助金等を活用した集出荷施設の整備(H29)
- ・奈半利味噌やイチジクジャム等のとさのさとへの出品(R元~)
- ・奈半利のおかげ商品の「地のもん市場ハレタ(土佐市)」への出品(R2~)
- ・おはようこうち「さんしんGO!」放送(R4)

◆運営体制の強化

- ・販売促進や運営上の課題等に関する定期的な協議
- ・うちんくのビジネス塾への参加(R2)
- ・産業振興アドバイザーの派遣(R3)
- ・選ばれる商品づくりセミナー第3回衛生管理の基本の「き」への参加(R4)

◆一次産業の振興

- ・農作業のオペレーター受託(H28~)
- ・農作物の生産開始(H28~)
- ・集落活動センター推進事業補助金を活用した備品整備(H29)

<主な成果>

◆ふるさと納税額(R2.7月~R4.9月まで停止)

H28:20.3億円 → H30:37.6億円
→ R元:4.2億円 → R2:0.4億円
→ R3:0億円

◆農作業受託件数

H29:75件 → H30:89件 → R元:145件
→ R2:212件 → R3:176件

◆農作物

いちじく作付け面積 H29:0a → R3:2.8a

◆加領郷魚舎

加領郷フィッシュリーズが利用開始(R4)

<課題>

- ・ふるさと納税に依存しない事業運営体制の構築

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆地産外商の強化	新商品の開発・既存商品の磨き上げ				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48 : 新商品の検討・開発・販売、既存商品の磨き上げ ● 県（地域本部等） : 新商品開発・既存商品磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	ふるさと納税を活用した地産・外商の強化				
◆運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷 : ふるさと納税の返礼品となる商品の磨き上げ支援、情報発信の強化 ● 県（地域本部等） : 商品の磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種セミナー等の情報提供 				
	通販サイトの充実・通販サイトを活用した特産品販売の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷 : R元開設した通販サイトの企画・運営、サイト内容の充実による特産品の販売促進 ● 県（地域本部等） : 通販サイトの運営などに関する産振アドバイザー等の活用提案 				
◆一次産業の振興	後継者の確保及び育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48 : (一社)高知県移住促進・人材確保センターを活用した人材確保、職場環境の見直しや衛生管理技術向上に向けたセミナー等の受講 ● 県（地域本部等） : セミナー等に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆一次産業の振興	農作業受託・新規就農者受入等の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (一社)なはりの郷、奈半利町 : 農作業受託の推進に向けた広報、地域おこし協力隊の募集・活用による人材確保 ● 県（地域本部等） : 農業技術の指導等 				

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 (田野町)
実施主体	◎田野町、民間事業者
APへの位置づけ	H24.4月
事業概要	製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 体験施設受入人数	269人 (H30)	64人	212人		700人
(2) 塩関連での就業者数	2人 (H30)	2人	4人		10人※ (R2～R5累計)

※出発点 (H30) の2名を含む。

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増

- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した塩づくりの過程を見学・体験できる施設の整備 (H24)
- ・製塩体験施設のオープン (H25.4月)
- ・地域おこし協力隊の導入 (H25～)
- ・塩に関する掲示物の作成及び多言語対応 (H27)
- ・体験プログラムイベント「ゆず FeS」におけるプログラムの実施 (H30)
- ・町内ガイド組織による製塩体験施設のガイド・体験案内の実施 (R元～)

◆新規就業者の育成・環境整備

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製塩研修施設の整備 (H29)
- ・天日塩生産用レンタルハウスの建設 (R元、R3)
- ・新規研修生2名の受け入れ (R2～)
- ・選ばれる商品づくりセミナー第1回チラシ作成の基本的「き」及び第2回写真撮影の基本的「き」への参加 (R4)

◆関連産業への波及

- ・「道の駅田野駅屋」で完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売 (R2)

＜主な成果＞

- ・新たに製塩研修施設が整備されたことにより、塩職人の育成体制が整った。
- ・生産用レンタルハウスが整備されるなど、製塩研修終了後の独立に向けた環境整備が進んでいる。
- ・R3.7月に研修生2名が独立。田野屋青蜂、白鯨の屋号での就業と田野駅屋での塩の販売が開始された。
- ・田野屋青蜂の完全天日塩を高知空港ビルの直営店「ICHIBA」で令和4年3月から販売しており、徐々に認知度が上がっている。また、まると高知での販売に向け、調整を行っている。

＜課題＞

- ・製塩体験プログラムの磨き上げやPRの強化
- ・新規就業者の定着、独立に向けた環境整備
- ・新規就業者の確保
- ・塩関連商品の開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増	施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成とさらなるPRによる誘客増				
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 施設運営のための人材の確保、新たな体験メニューの検討、SNS等による町内外へのPR ●県（地域本部等）： 新たな体験メニューのための各種アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
◆新規就業者の育成・環境整備	新規就業者の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 移住フェアへの参加等を通じた人材の確保 ●県（地域本部等）： 情報提供、(一社)高知県移住促進・人材確保センターなどの関係機関への橋渡し 				
	新規就業者の独立に向けた環境整備の検討、関係者間の調整				
◆関連産業への波及	加工品開発の支援、販路拡大の支援等				
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町、民間事業者： 民間事業者との情報共有、町内事業者等への情報提供 ●県（地域本部等）： 商品開発・販路拡大のための各種アドバイザーの活用提案、産業振興推進総合支援事業費補助金の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供、商談会等の紹介、関係機関への橋渡し 				
	新規就業者の確保				
◆関連産業への波及	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 移住フェアへの参加等を通じた人材の確保 ●県（地域本部等）： 情報提供、(一社)高知県移住促進・人材確保センターなどの関係機関への橋渡し 				

修正後

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 (田野町)
実施主体	◎田野町、民間事業者
APへの位置づけ	H24.4月
事業概要	製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 体験施設受入人数	269人 (H30)	64人	212人		700人
(2) 塩関連での就業者数	2人 (H30)	2人	4人		10人※ (R2～R5累計)

※出発点 (H30) の2名を含む。

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増

- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した塩づくりの過程を見学・体験できる施設の整備 (H24)
- ・製塩体験施設のオープン (H25.4月)
- ・地域おこし協力隊の導入 (H25～)
- ・塩に関する掲示物の作成及び多言語対応 (H27)
- ・体験プログラムイベント「ゆず FeS」におけるプログラムの実施 (H30)
- ・町内ガイド組織による製塩体験施設のガイド・体験案内の実施 (R元～)

◆新規就業者の育成・環境整備

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した製塩研修施設の整備 (H29)
- ・天日塩生産用レンタルハウスの建設 (R元、R3)
- ・新規研修生2名の受け入れ (R2～)
- ・選ばれる商品づくりセミナー第1回チラシ作成の基本的「き」及び第2回写真撮影の基本的「き」への参加 (R4)

◆関連産業への波及

- ・「道の駅田野駅屋」で完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売 (R2)

<主な成果>

- ・新たに製塩研修施設が整備されたことにより、塩職人の育成体制が整った。
- ・生産用レンタルハウスが整備されるなど、製塩研修終了後の独立に向けた環境整備が進んでいる。
- ・R3.7月に研修生2名が独立。田野屋青蜂、白鯨の屋号での就業と田野駅屋での塩の販売が開始された。
- ・田野屋青蜂の完全天日塩を高知空港ビルの直営店「ICHIBA」で令和4年3月から販売しており、徐々に認知度が上がっている。また、まると高知での販売に向け、調整を行っている。

<課題>

- ・製塩体験プログラムの磨き上げやPRの強化
- ・新規就業者の定着、独立に向けた環境整備
- ・新規就業者の確保
- ・塩関連商品の開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増	施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成とさらなるPRによる誘客増				
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 施設運営のための人材の確保、新たな体験メニューの検討、SNS等による町内外へのPR ●県（地域本部等）： 新たな体験メニューのための各種アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
◆新規就業者の育成・環境整備	新規就業者の確保		新規就業者の確保		
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 移住フェアへの参加等を通じた人材の確保 ●県（地域本部等）： 情報提供、(一社)高知県移住促進・人材確保センターなどの関係機関への橋渡し 				
	新規就業者の独立に向けた環境整備の検討、関係者間の調整				
◆関連産業への波及	加工品開発の支援、販路拡大の支援等				
	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町、民間事業者： 民間事業者との情報共有、町内事業者等への情報提供 ●県（地域本部等）： 商品開発・販路拡大のための各種アドバイザーの活用提案、産業振興推進総合支援事業費補助金の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供、商談会等の紹介、関係機関への橋渡し 				
	新規就業者の確保				
◆関連産業への波及	<ul style="list-style-type: none"> ●田野町： 移住フェアへの参加等を通じた人材の確保 ●県（地域本部等）： 情報提供、(一社)高知県移住促進・人材確保センターなどの関係機関への橋渡し 				

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)
実施主体	◎中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本遺産認定を受けた魚梁瀬森林鉄道遺産やゆずロード等を活用し、中芸地域の交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
中芸地域主要施設訪問者数	537,560人 (H30)	437,812人		550,000人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大

- ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立 (H28)
- ・日本遺産認定 (H29)
- ・日本遺産魅力発信推進事業の実施 (H29～)
- ・日本遺産認定記念シンポジウムの開催 (H29)
- ・日本遺産のストーリーにちなんだ体験プログラムイベント「ゆず FeS」の開催 (H29～7回)
- ・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局発足 (H30)
- ・BS-TBS2018「日本遺産」シーズン3での全国放送 (H30)
- ・日本遺産シンポジウム「中芸みんなの日本遺産 2019」開催 (H30)
- ・ゆずりんてつイルミ 銀河鉄道の夜開催 (R元)
- ・ゆずと林鉄 EXPO 開催 (R2～)
- ・日本遺産協議会への産振アドバイザーの導入 (R2)
- ・「第27回全国ハーブサミット in 中芸」開催 (R3)
- ・日本遺産関連ツアーの造成 (R3)
- ・再認定に向けた協議会体制の見直し (R3)

◆森林鉄道施設の保存及び活用策の検討

- ・ガイド育成 (H21～23)
- ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置 (H25)

- ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画の策 (H27)
- ・重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用委員会の開催 (H30～:5回)
- ・案内看板の設置 (R元:5カ所)
- ・ガイド養成講座の実施 (R3:全5回)

<主な成果>

◆ゆず FeS 参加者数

- 第1回 17プログラム 161人
- 第2回 22プログラム 268人
- 第3回 22プログラム 156人
- 第4回 11プログラム 96人
- 第5回 18プログラム 104人
- 第6回 9プログラム 63人
- 第7回 18プログラム 337人

◆ゆず林鉄 EXPO 参加者数

R2:625人

<課題>

- ・自走に向けた方向性の決定及び仕組みの構築
- ・拠点施設となるビジターセンターの整備
- ・訴求力あるイベントの企画及び情報発信・普及啓発のさらなる強化
- ・ガイドの育成による受入体制の充実
- ・再認定に向けた協議会体制の見直しと強化

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
<p>◆日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大</p>	<p>戦略の策定及び再認定に向けた体制の構築・強化</p>			<p>DMO 設立に向けた取組の実施</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 戦略会議等による自走に向けた方向性（戦略）の検討・策定、協議会体制の見直し（日本遺産推進室の設置）、DMO 立ち上げに向けた検討 ●県（地域本部等）： 戦略策定等に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他の日本遺産の取り組みに関する情報提供 			<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： DMO 設立準備、関係機関との調整 ●県（地域本部等）： 戦略策定等に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他の日本遺産の取り組みに関する情報提供 	
	<p>既存事業の磨き上げ、戦略に基づく事業の実施</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 既存事業の磨き上げ、戦略に基づく事業の実施、SNS 等による情報発信、セミナー等の受講による受入体制の充実、観光創生塾等の受講及び(一社)高知県東部観光協議会と連携した旅行ツアー商品等の開発、旅行会社への売り込み、関係町村との連携によるゆず林鉄 EXPO など各種イベントの実施 ●奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会： 町村独自のイベントの開催、森林鉄道施設の活用など、中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会と連携した事業の実施 ●県（地域本部等）： 事業実施に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他地域に関する情報提供、(一社)高知県東部観光協議会などの関係機関への橋渡し 					
<p>拠点施設整備の検討、整備計画の策定、整備</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 戦略会議等を通じた拠点施設の整備の検討・決定、整備計画の策定、部会 WG での施設整備内容の検討実施、施設整備、観光客の受け入れ、SNS 等を活用した情報発信、定期的なイベントや企画展の開催 ●県（地域本部等）： 各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、情報発信の方法やイベント開催などに関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、関係機関への橋渡し 					
<p>◆森林鉄道施設の保存策の検討</p>	<p>保存策の検討及び遺構の修復</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会： 重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用推進委員会における保存策の検討、案内看板の設置による PR、文化庁補助金等を活用した遺構の修復 ●県（地域本部等）： 委員会への参画によるアドバイス、各種支援制度及び他地域に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】・日本遺産：地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。ストーリーを語るうえで欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的とする。</p>					

AP名 (実施地域)	No.20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)
実施主体	◎中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本遺産認定を受けた魚梁瀬森林鉄道遺産やゆずロード等を活用し、中芸地域の交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
中芸地域主要施設訪問者数	537,560人 (H30)	437,812人	478,128人		550,000人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立 (H28) ・日本遺産認定 (H29) ・日本遺産魅力発信推進事業の実施 (H29～) ・日本遺産認定記念シンポジウムの開催 (H29) ・日本遺産のストーリーにちなんだ体験プログラムイベント「ゆず FeS」の開催 (H29～9回) ・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局発足 (H30) ・BS-TBS2018「日本遺産」シーズン3での全国放送 (H30) ・日本遺産シンポジウム「中芸みんなの日本遺産 2019」開催 (H30) ・ゆずりんてつイルミ 銀河鉄道の夜開催 (R元) ・ゆず林鉄 EXPO 開催 (R2～) ・日本遺産協議会への産振アドバイザーの導入 (R2) ・「第27回全国ハーブサミット in 中芸」開催 (R3) ・日本遺産関連ツアーの造成 (R3～) ・ガイド養成講座の実施 (R3～: 全5回講座) ・再認定に向けた協議会体制の見直し (R3～) ・住民向け無料ガイドの開催 (R4: 全5回) ・アドベンチャーツアーのモニターツアー実施 (R4) ・日本遺産中芸ゆずと森林鉄道ガイド会発足 (R4) 	<p>◆森林鉄道施設の保存及び活用策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置 (H25) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定 (H27) ・重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用委員会の開催 (H30～: 5回) ・案内看板の設置 (R元: 5カ所) <p><主な成果></p> <p>◆ゆず FeS 参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 17プログラム 161人 第2回 22プログラム 268人 第3回 22プログラム 156人 第4回 11プログラム 96人 第5回 18プログラム 104人 第6回 9プログラム 63人 第7回 18プログラム 337人 第8回 15プログラム 49人 第9回 18プログラム 187人 <p>◆ゆず林鉄 EXPO 参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> R2: 625人 R3: 1,628人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自走に向けた方向性の決定及び仕組みの構築 ・拠点施設整備及びガイド育成による受入れ体制の充実 ・既存事業の磨き上げによるさらなる認知度向上 ・再認定及び認定後のさらなる事業推進に向けた体制の構築

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
◆日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大	戦略の策定及び再認定に向けた体制の構築・強化			DMO もしくは地域商社設立に向けた取組の実施		
	<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 戦略会議等による自走に向けた方向性（戦略）の検討・策定、協議会体制の見直し（日本遺産推進室の設置）、DMO もしくは地域商社立ち上げに向けた検討 ●県（地域本部等）： 戦略策定等に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他の日本遺産の取り組みに関する情報提供 			<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： DMO もしくは地域商社設立準備、関係機関との調整 ●県（地域本部等）： 戦略策定等に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他の日本遺産の取り組みに関する情報提供 		
	既存事業の磨き上げ、戦略に基づく事業の実施					
	<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 既存事業の磨き上げ、戦略に基づく事業の実施、SNS 等による情報発信、セミナー等の受講による受入体制の充実、観光創生塾等の受講及び(一社)高知県東部観光協議会と連携した旅行ツアー商品等の開発、旅行会社への売り込み、関係町村との連携によるゆずフェス、ゆず林鉄 EXPO など各種イベントの継続実施 ●奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会： 町村独自のイベントの開催、森林鉄道施設の活用など、中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会と連携した事業の実施 ●県（地域本部等）： 事業実施に関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度及び他地域に関する情報提供、(一社)高知県東部観光協議会などの関係機関への橋渡し 					
	拠点施設整備の検討、整備計画の策定、整備					
	<ul style="list-style-type: none"> ●中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会： 戦略会議等を通じた拠点施設の整備の検討・決定、整備計画の策定、部会 WG での施設整備内容の検討実施、施設整備、観光客の受け入れ、SNS 等を活用した情報発信、定期的なイベントや企画展の開催 ●県（地域本部等）： 各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、情報発信の方法やイベント開催などに関するアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、関係機関への橋渡し 					
◆森林鉄道施設の保存策の検討	保存策の検討及び遺構の修復					
	<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会： 重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用推進委員会における保存策の検討、案内看板の設置による PR、文化庁補助金等を活用した遺構の修復 ●県（地域本部等）： 委員会への参画によるアドバイス、各種支援制度及び他地域に関する情報提供、関係機関への橋渡し 					
<p>【用語】・日本遺産：地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもの。ストーリーを語るうえで欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的とする。</p>						

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.25 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化 (安田町)
実施主体	◎安田町
APへの 位置づけ	H31.4月
事業概要	安田町の自然・体験型観光の拠点施設としてキャンプ場を再整備し、安田川をはじめとする地域資源を活用したアクティビティの強化や季節毎に特色あるイベントの開催、情報発信や施設の管理運営手法の見直しなどを行い、利用客数の大幅な増加を目指すほか、キャンプ場利用者への周辺施設への誘客や地域食材の利活用を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化につなげる。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
キャンプ場利用者数	2,527人 (H30)	53人	7,111人	6,000人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆キャンプ場の再整備による磨き上げ

- ・産業振興アドバイザー制度を活用した現状と課題の洗い出し (H30: 1回)
- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した基本計画の策定 (H30)
- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した実施設計の作成 (R元)
- ・地域観光振興交付金等を活用した改修工事の実施 (R2)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場設置及び管理に関する条例の制定 (R2)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場リニューアルオープン (R3)

◆利用客数アップに向けた仕組みづくり

- ・土佐の観光創生塾の受講を通じたJAや安田川漁協との連携による体験メニューの検討 (R元)
- ・日本遺産関連イベント「ゆず FeS」の体験プログラムとしてキャンプ場で体験メニューを実施
清流安田川のサカナ観察と川エビ漁体験 (R元)
親子ピザ焼き体験 (R元)
田中ケンのオージービーフ BBQ 講座 (R3)
- ・専用 HP の立ち上げ・パンフレット刷新 (R3)

- ・味工房じねんとの連携に向けた協議 (R3)

- ・コールマンパートナーフィールドイベント第1弾実施 (キャンプなんでも相談・テントの設置、たたみ方講習) (R3)
- ・Xmas イベントの開催 (R3)

<主な成果>

◆キャンプ場の再整備による磨き上げ

- ・「安田川アユおどる清流キャンプ場等再整備基本計画」の策定 (H30)
- ・「安田川アユおどる清流キャンプ場整備工事設計」の作成 (R元)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場リニューアルオープン (R3)
- ・コールマンパートナーフィールドイベント第1弾実施(R3)

◆「ゆず FeS」を通じた体験メニューの利用者数

- 清流安田川のサカナ観察と川エビ漁体験: 18名
- 親子ピザ焼き体験: 7名
- 田中ケンのオージービーフ BBQ 講座: 10組 22名

<課題>

- ・顧客サービスの向上
- ・イベント開催や体験メニューの造成等による集客力アップ
- ・周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくり
- ・周辺施設との連携による地域食材の提供

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆キャンプ場の再整備による磨き上げ	キャンプ場再整備 <ul style="list-style-type: none"> ●安田町：国及び県の支援制度を活用した施設の再整備 ●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し 	キャンプ場リニューアルオープン			
	顧客サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ●安田町：アウトドア専門家や事業者等と連携した顧客ニーズに沿った管理・運営手法の導入、新規サービスの提供、スタッフの人材育成 ●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆利用客数アップに向けた仕組みづくり	実施内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ●安田町：イベント内容の検討、体験メニュー等の内容検討、情報発信方法等の検討 ●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し 	集客に向けた取り組みの実践及び満足度向上に向けた改善策の実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ●安田町：季節毎に特色あるイベントの企画・実施、キャンプ場を拠点とした体験メニューの充実及び定番化、SNSを活用した情報発信及びHP作成、メルマガ配信によるファンの獲得、イベント及び体験メニューの継続実施に向けた仕組みづくり、参加者からの評価を基にした改善策の検討・実施 ●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
	連携手法の検討・準備 <ul style="list-style-type: none"> ●安田町：周辺の施設との連携内容の検討及び調整、地域食材の提供の検討・準備 ●県（地域本部等）：各種支援制度及び他地域事例に関する情報提供、関係機関への橋渡し 		周辺施設との連携による相乗効果の発揮		
	<ul style="list-style-type: none"> ●安田町：周辺施設との連携開始による新たなサービスの提供、誘客に向けた共同PRの実施、地域食材の提供開始によるサービス向上、連携の継続・発展に向けた仕組みづくり ●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等含む）及び他地域の事例に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				

修正後

安芸地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.25 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化 (安田町)
実施主体	◎安田町
APへの 位置づけ	H31.4月
事業概要	安田町の自然・体験型観光の拠点施設としてキャンプ場を再整備し、安田川をはじめとする地域資源を活用したアクティビティの強化や季節毎に特色あるイベントの開催、情報発信や施設の管理運営手法の見直しなどを行い、利用客数の大幅な増加を目指すほか、キャンプ場利用者への周辺施設への誘客や地域食材の利活用を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
キャンプ場利用者数	2,527人 (H30)	53人	7,111人		<u>8,000人</u>

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆キャンプ場の再整備による磨き上げ

- ・産業振興アドバイザー制度を活用した現状と課題の洗い出し (H30: 1回)
- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した基本計画の策定 (H30)
- ・観光拠点等整備事業費補助金を活用した実施設計の作成 (R元)
- ・地域観光振興交付金等を活用した改修工事の実施 (R2)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場設置及び管理に関する条例の制定 (R2)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場リニューアルオープン (R3)

◆利用客数アップに向けた仕組みづくり

- ・土佐の観光創生塾の受講を通じたJAや安田川漁協との連携による体験メニューの検討 (R元)
- ・日本遺産関連イベント「ゆず FeS」の体験プログラムとしてキャンプ場で体験メニューを実施
清流安田川のサカナ観察と川エビ漁体験 (R元)
親子ピザ焼き体験 (R元)
田中ケンのオージービーフBBQ講座 (R3)
- ・専用HPの立ち上げ・パンフレット刷新 (R3)

- ・味工房じねんととの連携に向けた協議 (R3)
- ・スカイアンドシー・ムロトとの商談 (R4)
- ・コールマンパートナーフィールドイベント(R3~)
- ・Xmasイベントの開催 (R3~)

<主な成果>

◆キャンプ場の再整備による磨き上げ

- ・「安田川アユおどる清流キャンプ場等再整備基本計画」の策定 (H30)
- ・「安田川アユおどる清流キャンプ場整備工事設計」の作成 (R元)
- ・安田川アユおどる清流キャンプ場リニューアルオープン (R3)
- ・コールマンパートナーフィールドイベント実施(R3~)
- ・Xmasイベントの開催 (R3~)

◆「ゆず FeS」を通じた体験メニューの利用者数

- 清流安田川のサカナ観察と川エビ漁体験：18名
- 親子ピザ焼き体験：7名
- 田中ケンのオージービーフBBQ講座：10組22名

<課題>

- ・イベント開催や体験メニューの造成等による集客力アップ
- ・周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくり
- ・周辺施設との連携による地域食材の提供

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
◆ キャンプ場の再整備による磨き上げ	<p>キャンプ場再整備</p> <p>●安田町：国及び県の支援制度を活用した施設の再整備</p> <p>●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>	<p>キャンプ場リニューアルオープン</p>				
	<p>顧客サービスの向上</p> <p>●安田町：アウトドア専門家や事業者等と連携した顧客ニーズに沿った管理・運営手法の導入、新規サービスの提供、スタッフの人材育成</p> <p>●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>					
◆ 利用客数アップに向けた仕組みづくり	<p>実施内容の検討</p> <p>●安田町： イベント内容の検討、体験メニュー等の内容検討、情報発信方法等の検討</p> <p>●県（地域本部等）： 各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>	<p>集客に向けた取り組みの実践及び満足度向上に向けた改善策の実施</p> <p>●安田町：季節毎に特色あるイベントの企画・実施、キャンプ場を拠点とした体験メニューの充実及び定番化、SNSを活用した情報発信及びHP作成、メルマガ配信によるファンの獲得、イベント及び体験メニューの継続実施に向けた仕組みづくり、参加者からの評価を基にした改善策の検討・実施</p> <p>●県（地域本部等）：各種支援制度（補助金等）に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>				
	<p>連携手法の検討・準備</p> <p>●安田町： 周辺の施設との連携内容の検討及び調整、地域食材の提供の検討・準備</p> <p>●県（地域本部等）： 各種支援制度及び他地域事例に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>			<p>周辺施設との連携による相乗効果の発揮</p> <p>●安田町： 周辺施設との連携開始による新たなサービスの提供、誘客に向けた共同PRの実施、地域食材の提供開始によるサービス向上、連携の継続・発展に向けた仕組みづくり</p> <p>●県（地域本部等）： 各種支援制度（補助金等含む）及び他地域の事例に関する情報提供、関係機関への橋渡し</p>		